

徳島県立城ノ内中学校・高等学校

1 学校の概要

- ① 生徒数
- | | |
|-----|------|
| 1年生 | 119名 |
| 2年生 | 120名 |
| 3年生 | 117名 |
| 4年生 | 241名 |
| 5年生 | 240名 |
| 6年生 | 240名 |



② 校訓、めざす生徒像

<教育目標>

高い志をもって社会の平和と発展に貢献できる人材の育成を図り、豊かな人間性、国際性、創造性を育む中高一貫教育を施す。

<めざす生徒像>

- ア 社会貢献への自覚をもち、仲間と共に学び合い向上していく人間性豊かな生徒
- イ 多様な文化・価値観を尊重し自己の考えや意志を表現できる国際性豊かな生徒
- ウ 科学技術に関心をもち、主体的に考え追究することができる創造性豊かな生徒

③ 環境目標・テーマ

ふるさとの豊かな自然を守るために、地球にやさしい学校にしよう。

- ・節電・節水に努めよう。
- ・ゴミの分別、減量化に努めよう。
- ・リデュース・リユース・リサイクルに努めよう。

2 行動方針

- ① ゴミをきちんと分別します。
- ② 節電・節水に努めます。
- ③ 空き缶・空き瓶・ペットボトル・古紙・プルタブ・ペットボトルの蓋を回収し、ゴミを少なくします。
- ④ 地域の自然を守ります。

3 行動

① ゴミの分別

中学校：各教室に3種類のゴミ箱を設置しラベルも添付
(可燃物)(不燃物)(古紙)

高校：各教室に4種類のゴミ箱を設置しラベルも添付
(可燃物)(不燃物)(缶・ペットボトル)(古紙)

職員室：高校と同様

印刷室：裏面を再利用するための回収ボックスを設置



② 節電・節水の呼びかけ

全校：各学期の初めに節電・節水を呼びかけるためのプリントを配布
各水道に節水シールを貼る

③ 古紙・アルミ缶・スチール缶・ペットボトルの蓋・プルタブの回収

- 古紙の回収（家庭クラブと環境整美委員が連携：毎週金曜日）
- ペットボトルの蓋（高：JRC部が仲介業者トヨタカローラを通じてリサイクルセンターへ）
- プルタブ（高：JRC部が赤十字徳島支部へ）

④ 地域の自然を守る

- 吉野川堤防清掃
 - 7月 6日（中：整美委員と高校生有志102名参加）
 - 10月25日（中：有志63名、高：有志108名参加）
 - 12月11日（中：有志13名、高：有志87名参加）
- パンジーの片付け
 - 5月中旬（中：緑化委員、高：中庭清掃当番）
- ポチュラカの植え付け、プランター配布
 - 5月下旬（中：緑化委員、高：中庭清掃当番）
- 「自然に親しむ」ヨット研修
 - 7月24～27日（高1：有志67名参加）
- 「自然に親しむ」ハゼ釣り大会（総合学習の時間）
 - 10月9・10・11日（中1・2・3年）
- 教室等へシクラメン配布
 - 10月下旬（中：緑化委員、高：整美委員）
- パンジーの植え付け、校内樹木の剪定・清掃
 - 10月24日（PTA家庭教育研修部20数名）



⑤ 広報

- 横断幕のリニューアル掲示（高：環境整美委員）
- 取組紹介・協力の呼びかけ



4 具体的効果

- ◆ 資源ゴミについては、古紙回収に励み、僅かではあるが、収入を得ている。アルミ缶・スチール缶も分別回収を続けている。ペットボトルの蓋の回収は、発展途上国へのワクチン寄贈に貢献している。
- ◆ 地域やPTAと連携するなかで、環境美化に努め、吉野川を中心とした自然に親しむ活動も積極的に行うことができた。

5 改善点

- ◆ 節電については一定の効果が認められるが、節水が出来ていないことが判明した。
- ◆ 数値化したことを明示する広報活動をさらに活発化し、意識向上を図りたい。